



自動組版でカタログ制作を効率化

XMLとAdobe InDesignが可能にした
XMLパブリッシングワークフロー



株式会社リョーインは、三菱重工業株式会社や三菱自動車株式会社のグループ企業として、複写や帳票印刷、図面の発送・管理といった業務を手がけながら発展し、現在ではグループ各社のカタログ制作などを足がかりに、多メディアへ展開する情報サービス企業だ。同社では、Adobe InDesign CSとXMLを用いて、大量ページのカタログや自治体の市町要覧などを自動組版で制作、さらにはデータベースを活かしたWebと連動したサービスなどを提供して大きな効果を挙げている。XMLによる自動組版に着目した経緯や成功の理由についてお話を伺った。



印刷会社は紙でしか納品してくれない

三菱重工業や三菱自動車などといった、グループ内でのDTP制作や印刷業務が中心であったリョーイン。同社神戸営業所の製作部長、大石敦美氏は「グループ外へ積極的な営業展開を始めたのは、1989年頃です。グループ企業の取引先や官公庁などを中心にクライアントから印刷を中心に仕事を獲得しました」と話す。グループ外企業の仕事を伸ばしていった同社はDTPへの取り組みも早く、1990年頃からはすでに、DTPによる制作業務をスタートさせていた。しかし、あくまでも印刷中心にやっていたリョーインに転機が訪れたのは、あるスポーツ用品メーカーからの要望であった。

リョーイン 神戸営業所 IT・営業部のディレクター、北村祐輝氏は、次のように話す。

「非常にページ数の多い、カタログ制作の依頼でした。先方の担当者は当初から、商品の情報をデータベース化してDTPのレイアウトと分離し、自動組版で処理することをイメージしていました。そして、商品情報をデータベ

スに徐々に蓄え、やがては紙のカタログだけでなく、さまざまな形態で再利用することを念頭に置いていたのです。打ち合わせの際に担当者が言われたのが、“印刷会社は紙でしか納品してくれない”というひとことだったんです”

また、このスポーツ用品メーカー担当者は、それまでのカタログに対して「カタログにしたとき、商品の色が合わない。カラーマネジメントというものにも興味がある」と話していたと言う。

「そのような先方のニーズを伺い、データベースと自動組版、そしてカラーマネジメントにチャレンジすることで、印刷単体ではない、リョーインならではの強みを持つてのではないかと考えました」（北村氏）

データベースとカラーマネジメントを研究

上記のような依頼を受け、リョーインではさっそくワークフローの研究を行い、その結果行き着いたのが、XMLデータをAdobe InDesignで自動組版するというものだった。カラーマネジメントについても、リョーインのグループ企業である株式会社リックの印刷機をベースにカスタムプロファイルを作成して運用する方法と、Japan Colorを利用する方法を確立させた。

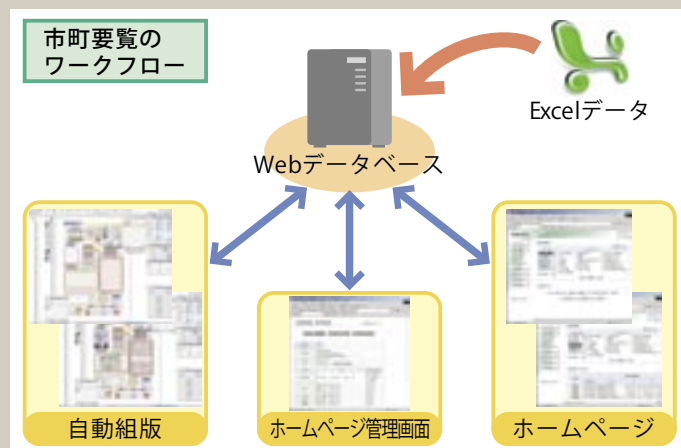
このようにして体制を整えたリョーインであったが、結果として、スポーツ用品メーカーのカタログ制作は、残

XMLとInDesignの自動組版がなければ、
このカタログ制作は不可能でした

リョーイン 神戸営業所 IT・営業部 北村祐輝氏

紙とWebで展開する市町要覧

兵庫県自治協会の市町要覧では、県庁の担当者がWeb経由で情報を管理している。Web上のデータベースとして市民が閲覧できるほか、データをXMLで書き出してInDesignによる自動組版を行い、紙媒体も制作されている。



念ながら受注できなかった。「しかし、このときの研究と投資の結果、社内にはMac OS XとInDesignの環境とXMLパブリッシングのノウハウが整うことになったのです。これは、決して無駄にはなりませんでした」と、北村氏は語る。

多ページのカatalogを10日間で制作

リョーインの研究と投資が実を結んだのは、三菱重工業のグループ内における、事務用品等の集中購買用のカタログ制作であった。事務用品から飲料、雑貨に至るまで、オフィス内で必要になるありとあらゆるモノを網羅した、膨大な商品数のカタログである。その制作を、リョーインが行うことになったのだ。この業務において、XMLとInDesignを用いた自動組版が活用された。リョーイン 神戸営業所 情報システム課の柴田邦之氏は、そのワークフローについて次のように話す。

「商品の基本データは、Excelのデータで入稿されます。これを整理・加工してInDesignに流し込むのです。Excelデータの段階で、マクロを使ってひととおりデータのチェックを行います。そして、ProXCreatorを使用してXMLを生成し、InDesignで自動組版を行います。XMLをInDesignに流し込む際には、ProDIXを使用しています」

株式会社プロフィールドの「ProXCreator」は、リレーショナルデータベースやCSVファイルなどからXMLを生

成できるソフトウェアだ。また、同社の「ProDIX」は、XMLをInDesignで自動組版するためのプラグインである。「XMLとInDesignの自動組版がなければ、このカタログ制作は不可能でした。というのも、掲載される商品が決定してデータが入稿されてから下版までの期間が、実質10日間程度だったのです」と、北村氏は語る。

また、リックの印刷工場への入稿フォーマットにはPDF/X-1aを導入し、入稿作業の省力化に成功している。北村氏は「PDF/X-1aを使えば、入稿データを1ファイルにすることができ、データが軽くなるのでネットワークで送ることも可能になります。それまでネイティブデータやEPS、PSデータで入稿していたのと比較すると、大幅に楽になったと感じています」と、そのメリットを語る。

自治体の市町要覧もXMLパブリッシングで

多ページのカatalog制作でXMLパブリッシングに自信を持つことができたリョーインが次に手がけたのが、兵庫県自治協会の市町要覧だ。

「市町要覧は、今まで紙版支給で印刷されており、修正や二次活用が困難でした。そこで、各市町の担当者からの入稿データをWebデータベースに格納する方法を提案しました。データベースに完全な情報を持つことができれば、後はメディアに応じてアウトプットするだけです。XMLを使ってInDesignで自動組版を行うことで、紙媒体の市町要覧を作成できますし、同じデータをWebでも検索、閲覧、ダウンロードすることができるのです」(北村氏)

会社データ

株式会社リョーイン 神戸営業所
神戸市兵庫区
www.ryoin-kobe.com

チャレンジ

コンテンツサーバを導入し、XMLデータによる自動組版を行うことで、ひとつの情報を多メディアに展開できる制作会社を目指す。

ソリューション

Adobe InDesignを導入し、XMLデータの自動組版を実現。サーバにはDTP Turbo Server、XML生成と自動組版にはProXCreateおよびProDIXを使用。

ベネフィット

自動組版で処理を効率化したことで、大量のページ数のカタログを短納期で制作。また、兵庫県の市町要覧ではWebベースのデータベース入力と、1つのデータから紙とWebの2方向への展開を実現。

Tool Kit

- Adobe InDesign CS
- ProXCreate
- ProDIX
- DTP Turbo Server

完全なデータを持つことができれば 後はメディアに応じてアウトプットするだけです

リョーイン 神戸営業所 IT・営業部 北村祐輝氏



リョーイン 神戸営業所 IT・営業部 ディレクター 北村祐輝氏（真中）、情報システム課 柴田邦之氏（左）、IT・営業部 金森由記氏（右）

リョーインが提案したXMLパブリッシングが実現したことで、兵庫県下住民は、各市町の首長や議会の党派構成、役所の所在地、人口や市町の総生産といった各種の情報を、紙とWebの両方で自由に閲覧することが可能になっている。

カタログをオンデマンドで提供したい

このようなXMLパブリッシングの仕組みは、Mac OS XとInDesignが中心となっているが、オペレータによる単純な流し込み作業などは、導入コストの低いWindows PCで運用する方向に進んでいるという。リョーイン 神戸営業所 IT・営業部の金森由記氏は、次のように話す。

「私はそもそも、Windows版のInDesignを先に触っているんです。InDesignは、Mac版でもWindows版でも操作は同じですし、OpenTypeフォントを使うことでデータの

互換性も保たれています。Macだから、Windowsだから……という意識は、ほとんど持っていません」

最後に今後の展望について、北村氏はこう語っている。「今後は、大量に印刷された紙のカタログを作る必要性が無くなるというケースも考えられます。つまり、お客様ごとに特化したカタログを、オンデマンドでプリントしてお持ちするわけです。営業マンはデータベースに格納された商品データにWeb経由でアクセスし、お客様が必要とする商品データだけを選択、それをInDesignで自動組版して、オンデマンドでプリントする——そんなサービスを目指しており、すでに実現されつつあります。今後も、データベースと自動組版を使い、Webとも連動したさまざまなサービス『本当のワンソース・マルチユース』を提供していきたいと考えています」

アドビシステムズ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2ゲートシティ大崎 イーストタワー・www.adobe.co.jp

Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・www.adobe.com

アドビカスタマーインフォメーションセンター Tel.03-5350-0407 受付時間/平日9:30~17:30(土曜・日曜・祝日・弊社指定休日を除く)

Adobe、Adobeロゴ、Adobe Creative Suite、InDesign、Illustrator、PhotoshopおよびAcrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。OpenTypeおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における商標または登録商標です。MacintoshおよびMacは、米国Apple Computer, Inc.の米国および他の国の商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

©2004 Adobe Systems Incorporated. All right reserved.

